

# 地域安全学会

## 2014年度第3回理事会 議事録

日 時：2014年9月6日（土） 15：15～17：00

場 所：東京大学

出席者：立木茂雄、糸井川栄一、松岡昌志、秦康範、梅本通孝、池田浩敬、重川希志依、牧紀男、村尾修、庄司学、柄谷友香、西川智、矢代晴実、畝田泰子、村上ひとみ、山崎文雄

委任状：岡田成幸、越村俊一、加藤孝明、岩田孝仁、宮野道雄、大西一嘉、森伸一郎、能島暢呂

欠 席：市古太郎

事務局：竹本 加良子、上木美貴恵

配布資料：26-3-1 2014年度第3回理事会議事次第（立木）  
 26-3-2 2014年度第2回理事会議事録案（立木）  
 26-3-3 会員数、会費納入状況  
 26-3-4 メダル制作見積もり  
 26-3-5 東日本大震災連続ワークショップ 2013 in 大船渡 プログラム案（宮野）  
 26-3-6 研究運営委員会資料  
 26-3-7 NL89号（2014年10月）「内容と担当者」

議題：

### 1. 前回議事録の確認（立木）

資料 26-3-2 の第2回理事会議事録（案）について、下記2点の修正点以外は、原案通り承認された。

- ・田中聡先生を委任状から出席者欄に移動する。
- ・「5.研究運営委員会関係」の本文  
糸魚川先生 → 糸井川先生 に修正

### 2. 会勢・会員管理関係（上木・竹本）

#### (1) 会員数、未納者数の報告

2014/9/3(水)時点での2014年度の会員数・会費納入状況は以下の通りである。

会員種別	会員数	内、新規 会員数	会費納入者数	会費未納者数	未納の割合
賛助会員(※)	1	1	1	0	0.0%
正会員	593	30	397	196	33.1%
学生会員	99	22	47	52	52.5%
総 数	693	53	445	248	35.8%
割 合	100.0%		64.2%	35.8%	

※5/30 に株式会社パスコ様が賛助会員としてご入会

【回収済会費】

賛助会員（10万円）×1社＋正会員（5,000円）×397人＋学生会員（2,000円）×47人＝2,179,000円

【未収会費】

賛助会員（10万円）×0社+正会員（5,000円）×196人+学生会員（2,000円）×52人=1,084,000円

2014/9/3(水)時点での2013年度の会員数・会費納入状況は以下の通りである。

会員種別	会員数(※)	会費納入者数	会費未納者数	未納の割合
正会員	565	462	98	17.3%
学生会員	88	53	35	39.8%
総数	653	515	133	20.4%
割合	100.0%	78.9%	20.4%	

※2014/3/31時点の会員数のため、4月以降の退会者も含まれています。

【回収済会費】

賛助会員（10万円）×0社+正会員（5,000円）×462人+学生会員（2,000円）×53人=2,416,000円

【未収会費】

賛助会員（10万円）×0社+正会員（5,000円）×98人+学生会員（2,000円）×35人=560,000円

(2)未納者への対応

会費未納者には、メールで連絡する。その際、件名に「督促」などを入れて重要度を高め、11月までに会費の納入率の改善を図る。

3. 学術委員会関係（田中）

(1)研究発表会論文の査読結果報告

査読論文55編。うち、一次審査通過論文：43編。

二次審査通過論文：33編、電子ジャーナルへの移行論文：4編、未提出：4編。通過率は60%であった。

(2)1月からの電子ジャーナル論文の募集について

8月29日に電子ジャーナルの投稿締め切ったが、投稿論文は3編だった。年々投稿数が減ってきているため、1月からの電子ジャーナル論文募集を取りやめ、研究発表会論文1回、電子ジャーナル1回の年2回に減らしてはどうか、学術委員会から提案があったが、主に下記2点の理由により、1月からの電子ジャーナルは予定通り行うこととする。

- ・電子ジャーナルを年2回行うことは、地域安全学会の事業計画として総会で承認されている
- ・学位取得のための計画に1月の電子ジャーナルが組み込まれている可能性がある

(3)来年度の電子ジャーナルの募集と発表について

来年度の電子ジャーナルの募集回数と、研究発表会で口頭発表とするかどうかは、総会までに学術委員会にてご検討いただき、理事会にご提案いただく。

4. 東日本大震災連続ワークショップ 2013 in 大船渡（村尾）

(1)杉安先生の委員会参加について

杉安先生を特別委員会の委員としてお認めいただき、東日本大震災連続ワークショップに関する

る活動については、委員会の活動として位置付けることについて、理事会で審議し、承認された。

#### (2) 投稿論文について

投稿論文数が 19 編と少ないため、お断りした人に、再度投稿をお願いする。また、投稿期限のみ延すこととし、全会員にメールでお知らせする。なお、アブストラクト投稿については、9/14（日）までを期限とし、逐次投稿を受け付けていく。

※全会員には、9/6 にメールでお知らせ済み。

#### (3) 懇親会について

懇親会参加者は多くて 30 名程度と予想される。懇親会参加費については、予想される参加者数を基に委員会内でご審議いただく。

現地で必要になった機材や懇親会での不足分等については学会からの支出とする。

なお、懇親会での出し物は今回無しとする。

#### (4) 見学会について

見学会で利用する貸し切りバスは、見学会の参加者を盛岡駅や空港までお送りすることになっている。その分の交通費や、昼食代も含まれることを考慮し、見学会参加費は 6,000 円とする。

#### (5) 謝金について

講師の南先生には、謝金として 2 万円、旅費宿泊費は実費でお支払いする。

#### (6) IRIDeS との共催について

今回の東日本大震災連続ワークショップは、IRIDeS との共催とする。

費用の区分としては、チラシ印刷・配布代と講師の南先生への謝金及び旅費宿泊費を IRIDeS が負担し、その他運営に係る費用を地域安全学会が負担することで、IRIDeS にて承認を得る。

### 5. 2014 年度秋季研究発表会（池田）

ニューズレターでの告知前に、ホームページ上で秋季大会の告知を行った。

更新ページは下記の通り。

- ・「研究発表・論文集」のページ : 秋季大会の案内を掲載
- ・「論文募集」のページ : 秋季一般論文の案内を掲載

### 6. 研究運営委員会（梅本）

#### (1) 資料の訂正について

資料 26-3-6 について、下記 2 点の訂正があった。

- ・「世界の復興計画比較研究小委員会」の主査を牧先生から大西先生に修正
- ・「災害情報通信学会」を主査:牧先生として追加する

## (2)「災害情報通信学会」の位置づけについて

「災害情報通信学会」について、予算措置は不要だが、研究運営委員会の活動として位置づけ、恒常的に活動を続けることについて、理事会で審議し、承認された。

これに整合性を持たせるため、研究運営委員会の規約を改正することを理事会で決定した。

## (3)来年度からの企画研究小委員会の新規募集について

予算措置が必要な小員会2つのうちの1つが今年度で活動を終了するため、次年度から活動を開始する小委員会について募集の告知を行う。

## 7. 国際交流委員会（牧）

### (1)ICUDRについての報告

若手研究者に対する旅費助成について、ノミネートされた12名のうち10名に助成を行うことが決定した。

DRIからの1,923,876円の振込分と、前年度からの繰越金から、1人あたり20万程度の助成金を支出する。振込先の口座は取りまとめ次第事務局に連絡する。

なお、ムハルダットさんのアブストラクトが提出されていないため、目黒先生にご確認いただく。

### (2)ACUDRについての報告

論文投稿数:10編。旅費助成は無し。

初日は立木先生、二日目は牧先生、森先生が発表する。

## 8. 広報委員会関係（秦）

ニューズレターNo.88の発行をもって、柄谷先生は広報委員の担当が終了となるため、秦先生に引継ぎを行った。

ニューズレターNo.89の内容と担当者について、下記の点が変更となった。

- ・2の「(3)査読論文発表プログラム」の担当者は、学術委員会 牧副委員長 に変更する
- ・「3. 地域安全学会論文集 No.26(電子ジャーナル)募集と投稿方法」の担当者は、電子ジャーナル部会 松岡副部長 に変更する
- ・「8. 2014年度企画研究小委員会の研究テーマ募集」は2015年度に修正し、担当者は研究運営委員会 能島委員長 に変更する
- ・「5. 2014年度地域安全学会技術賞 募集要領」は、No. 88で告知済みのため削除する
- ・「10. 広報委員会からのお知らせ」は、番号をとって「編集後記」として掲載する

## 9. 表彰委員会（池田）

メダルの在庫が尽きるため、メダルの追加発注が必要となった。予算には計上されていないこと、

見積書の期限が8月31日のため、若干金額の変更の可能性はあること等はあるが、追加発注については理事会で審議し、承認された。

追加発注の詳細については下記の通り。

- ・発注数は20個とする。
- ・メダルのデザインは変更しない。(技術賞等必要に応じて、仕上げ処理を行う)
- ・「一般社団法人」は付けない。
- ・プレートの文字刻印は、今まで通り文字数に応じた金額とする。

## 10. その他

### (1)HFAの報告書の寄贈(村尾)

東日本大震災について、HFAというフィルターを通して作成したレポートが掲載されているHFAの報告書2冊が理事全員に寄贈された。

### (2)国連防災世界会議関連国際会議について(牧)

締切が9月16日の仙台市の一般枠の募集に、地域安全学会として応募するため、提出書類等を整えている。

○ 次回理事会 11/7(金) 静岡県地震防災センター(時間は調整後連絡する)

代表理事

立木 茂雄



監事

山崎 文雄

